

森林保護

問 (野口議員)

大山は、ほとんどが貴重な国有林だが、荒廃する懸念がある、調査研究できないか。

答 (山口町長)

樹木が枯れる状況があれば、県の専門課と連携を取りながら、一緒に取り組んでいく体制を作っていく。

保育所

問 (森田議員)

保育所の管理運営は。

答 (山田教育長)

保育所長は中山地区3所に1名、名和地区には4所に1名、大山地区3所に1名、配置しているが、大きな問題が起きているとは思っていない。

問 (西尾議員)

園児の外部委託は高く付くか。今後増えるのではないか。

また、乳児の受け入れ

態勢不備などが若者定住の足かせになっていないか。

答 (高木幼児教育課長)

委託の場合は、私立が多いので、一人当たり年間10万位高い。勤務先の近くで乳児を授かる所に出される傾向がある。

町内は生後6カ月から受ける。

人権同和問題

問 (吉原議員)

人権同和問題懇談会等の参加者実態は。

答 (近藤人権推進課長)

人権セミナーは427名、87名の増。推進養成講座は、4回で92名、58名の減。小地域懇談会は、161部落訪問して1、366名、77名の減。研究大会は、168名で、38名の減。

滞納対策

問 (荒松議員)

滞納は増えている。監査報告で「滞納対策に部署により温度差が感じられる」とはなにか。

徴収できない中で、職員体制はどうするのか。

答 (椎木代表監査委員)

実績からみても、本所の方は積極的、支所の方で緩みがあるようだ。

問 (二宮議員)

財政難のときに滞納額が全体で6億を越す、そ

の半分近くは、住宅新築資金。年々滞納額が増えるが、行政として具体的な取り組みをしたか。

答 (近藤人権推進課長)

保証人で、亡くなられた方についての名義変更、また法的処分も考える。

一般会計補正予算質疑

中学校統合

問 (荒松議員)

教育審議会の中問答申に、中学校は2校統合、3校統合の記載がある。



滞納徴収に取り組む税務課

決算審査特別委員会

付帯意見

- ①18年度決算においては、6億5812万円の未収金がある。その原因究明に努め、未収金対策を積極的に行うこと。また、未収金の管理を徹底し、新たな時効消滅が発生しないよう留意されたい。住宅新築資金等貸付金等では、実数として一向に成果が見受けられないので、法的措置、抵当権設定等の諸策を早急に検討・実行し、債権の保全に努められたい。
- ②国民健康保険診療所特別会計のうち、大山診療所では平成18年度から起債の償還が始まり一層の経営努力が必要である。将来にわたっての運営方針の見直しを検討されたい。
- ③上・下水道使用料においては、目標年次を定めて、旧3町間で異なる料金の統一に努力されたい。

名和中学校耐震補強及び大規模改修工事設計委託料3、317万円がついている。耐震補強は、しなければならぬが、大規模改修工事については、最終答申が出て方向性が決まった時点で、予算を組んではどうか。

答 (山田教育長)

学校統合には、10年くらい時間は必要。現在のものを修理、ある

いは改築しながら使うというところで、設計委託料を提案した。

問 (岩井議員)

活力ある地域づくり支援事業助成金の350万円は。

答 (齊藤大山振興課長)

宝くじ助成事業の補助金で、大山寺エリアの空き店舗を活用する事業。